



# 駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会ホームページ <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/>

## 第34回駿輝祭・ホームカミングデー中止のお知らせ

2020年10月31日(土)に開催を予定しておりました「同窓会父母会共催 講演会」及び「ホームカミングデー」につきまして、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止させていただくこととなりました。

ご来場される皆様の安全を第一と考へての決定ですので、毎年楽しみにして下さっていた同窓生やご家族及び先生方におかれましては、ご理解の程お願い申し上げます。なお、誠に残念ですが、同日開催予定の「第34回駿輝祭」につきましても中止となりました。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、また皆様にお会いできる機会を祈念しております。

## 2020年度 同窓会 初 オンライン総会開催報告

5月16日(土)に開催を予定しておりました2020年度同窓会総会及び懇談会につきまして、新型コロナウイルス感染拡大の状況及び出席される皆様の安全確保の観点から、中止することとなりました。

その後、7月11日(土)14時から、同窓会初となるZoomによるオンライン総会を開催いたしましたので、その模様をご報告いたします。

オンライン上でも活発な質疑応答がなされ、議案についての賛否を即時に集計するなど、大変有意義な試みとなりました。

同窓会  
名誉顧問  
挨拶



＜大森 一宏学長＞

学長の大森です。同窓会の皆様には、日頃よりたいへんお世話になっております。本日はオンラインによる総会の開催ということで、直接お目にかかることはできませんが、画面を通して、本学の教育へのさまざまなご協力に心からお礼申し上げます。

大学は、おかげさまで入試状況は好調で、2020年度においても引き続き入学定員を超える入学者を確保し、収容定員を充足するに至っております。また、就職率も高い水準を維持し、昨年度も就職を希望する学生は、ほぼ全員就職できました。さらに、毎年残された課題として挙げられる中退防止につきましても、1・2年次生を中心に面談・学生指導などの対応を強化するなどした結果、若干ながら改善をみることができました。

このように教育の充実に向けて続けてまいりました努力が実を結びつつあると喜んでいる最中に、今回の新型コロナウイルス感染拡大の問題に遭遇いたしました。今年度の本学は、感染拡大の抑制と学生の安全確保を重視し、入学式を中止するとともに、キャンパスの入構制限措置をとりました。また、教室に集まったガイダンスや授業は行わず、オンラインを用いた遠隔授業を実施することにいたしました。なお、サークル活動・部活動など課外活動についても中止・延期等の対応をとりました。

この間、本学では遠隔授業を始める上で必要となる端末等の情報機器の確保、インターネットの通信環境の整備、通信費用の補助などの経済的支援を行うことにより、学生が学習に専念できる環境の整備を図ることを目的に一律5万円の緊急支援金の給付を決定いたしました。また、授業で必要となる端末等の情報機器の確保が困難な学生には、端末の貸与を実施しました。さらに、キャリアセンターでは主に電話やメールを通じた個々の学生に対する就職活動のサポートに加えて、WEB面接の対策をはじめとするさまざまなオンライン行事を実施しています。その他にも、さまざまな部署において、コロナ禍に対応した教育環境の整備や学生サポート体制の維持に努めております。

とりわけ、オンライン授業については、Google meet や Moodle を活用しつつ教育の質の確保と向上に努めており、現在教職員一同協力して、この新しい学びの形の可能性を模索しているところです。たしかにオンライン授業には、時間やコストの節約、反復学習や双方向型学習への活用の利便性などの面で大きなメリットがあります。今後、新型コロナウイルスの問題が収束しても、オンラインの活用は進んでいくと思われます。しかし同時に、オンライン授業を導入してみても、今まであたりまえのように行ってきた対面での授業の持つ価値も、再認識しているところです。今後本学では、今回のオンライン授業の導入で得た経験や知見を活かし、オンラインと対面での授業とを組み合わせながら、教育の質を高めていく取組を進めていきたいと考えています。

さて、現在本学では5月25日の政府の「緊急事態宣言解除」及び埼玉県の「緊急事態措置等の解除」の発表を受けて、状況をみながらキャンパスの入構制限等の段階的解除を行っています。具体的には、メディアセンター利用対象の拡大、大学会館1階の食堂、大学会館地下1階のショッピングセンターの営業再開などを進めています。また、学生の課外活動についても、安全を確保しながら段階的に制限を緩和して活動の再開を目指しています。とはいえ、状況は日々刻々と変化しており、感染状況や政府の動向を確認しながら、制限の緩和のみならず、場合によってはその強化も視野に入れて、的確な対応をとるべく努めております。同窓会の皆様方には、今後ともご理解とご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

今回は、簡単ですが、新型コロナウイルス感染拡大の問題に対する本学の対応を中心とする現状報告を申し上げて、ご挨拶に代えさせていただきます。最後になりましたが、駿河台大学同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

### 2020年度駿河台大学同窓会 事業計画 (案)

1. 同窓会報の発行 (予算「同窓会報作成費」40万円)  
同窓会報を年2回、4月及び10月に発行し、会員全員に配布。同時に同窓会総会やホームカミングデー等の案内を発行。
2. 大学への事業寄付 (予算「大学への事業寄付」100万円)  
卒業生が卒業した大学の寄付金。
3. 同窓会誌の編集 (予算「同窓会誌編集費」160万円)  
5月16日(土)に総会及び懇談会を開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、同日での開催は中止。7月11日(土)にZoomによるオンライン開催を予定。
4. ホームカミングデーの実施 (予算「ホームカミングデー実施費」200万円)  
10月31日(土)の駿輝祭日に著名人を招いて講演会を実施。併せて会員及び教職員を招いて懇談会を開催。
5. 同窓会ホームページの管理 (予算「ホームページ管理費」40万円)  
同窓会ホームページを引き継ぎ随時更新、管理。

### オンライン総会の様子

同窓会  
会長  
挨拶



＜新井 克明会長＞

本日は大変お忙しいなか、2020年度駿河台大 同窓会総会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

今回、同窓会の歴史の中で、総会をこのようにオンラインで行うというのは初めてのことでございます。事前の準備等でいろいろと行き届かない点があり、皆様にご迷惑をおかけしましたこと、どうかご容赦いただければ幸いです。

例年、都内または大学での総会の運営並びに懇親会を行ってありますが、このようなコロナの状況下でどのように同窓会活動を行っていくか、役員の間でも真摯に議論いたしました。様々な意見が出ましたが、総会を「オンライン開催」ということで決定し、この場に至っております。

今日を迎えるまで、私も非常に不安な思いでございましたが、総会の議事に対して議決権行使のながさも140通を超えてご返信いただき、本日の総会も28名のご出席をいただきました。非常に多くの方にご注目をいただきましたこと、そして、皆様にご多岐のご意見並びにご審議をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

本年の同窓会活動につきましては、駿輝祭開催日に予定しているホームカミングデーなど、様々な事業が、現状では行えるかどうか不透明な状況です。しかしながら、「このような状況では同窓会活動は難しい」と思考停止せず、あらゆる可能性を考えながら進めてまいりたいと思います。

皆様にも多々ご意見をいただきながら、この総会そして今年度の同窓会活動のご支援をいただきたいと思います。改めましてこの1年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2020年度同窓会総会議事

- (1) 2019年度事業報告及び収支決算報告について
- (2) 2019年度監査報告について
- (3) 2020年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

**2020年度同窓会総会は、  
新型コロナウイルス感染症予防対策のため、  
オンラインにて開催されました。**

### (1)2019年度事業報告及び収支決算報告について

2019年度の主な事業活動として、以下の報告がなされ、会計担当者による決算収支報告の後、承認されました。詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

#### ①大学への卒業寄付

2018年度卒業生から大学への卒業記念品として、体育館に製氷機2台を贈呈。

#### ②同窓会総会の開催

5月18日(土)ホテルグランドパレスを会場に同窓会総会、懇親会を開催。同窓会員及び教職員を含め約150名が参加。



同窓会総会の様子

#### ③ホームカミングデーの実施

駿輝祭開催日(初日)の10月26日(土)に父母会との共催講演会として、秋草学園短期大学学長の北野大氏を招き「北野家の訓え(おしえ)」を開催。聴衆は約750名。講演会終了後には、同窓会員及び教職員など約130名参加による懇親会を開催。



講演会の様子

#### ④支部会補助

9月7日(土)栃木県宇都宮市のホテルマイステイズ宇都宮において栃木支部会を開催。支部会の後、父母会と合同で懇親会を実施。

#### ⑤同窓会寄附講座

在学生の応援、大学に対する援助及び同窓会のPRを目的として、「インターンシップI」・「森林文化I・II」・「まちづくり実践」の3授業を同窓会寄附講座とし、支援。



インターンシップ報告会の様子



森林文化の授業の様子

#### ⑥給付奨学金事業費

同窓生の子を対象とした給付奨学金制度。2019年度は、9件の申請があり、入学初年度の授業料の半額を同窓会から給付奨学金として支給。

#### ⑦準会員の各種検定試験受験料補助費

各種検定試験等を受験する学生に対して、受験料の半額を補助。

#### ⑧準会員との交流事業費

キャリアセンター及び各学部が実施する卒業生を活用した就活支援行事の実施経費を支援。



就職支援行事の様子

#### ⑨活躍する準会員への応援費

4月に開催されたアジア陸上競技選手権大会において、男子4×400mRで金メダル、混合4×400mRで銅メダルを獲得、9月に開催された世界陸上に招聘された若林康太選手(2020年現代文化学部卒)に激励金を贈呈。

### (2)2019年度監査報告について

会計監査担当者による監査報告の後、議題は承認されました。

### (3)2020年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

前年度実施した事業を継承しつつ、会員相互の親睦と母校発展に寄与する事業計画案が説明され、予算案と併せて承認されました。



議案についての賛否を、オンラインで即時に集計しました。

読み終えた  
**本DVD**で  
募金ができます



駿河台大学公式キャラクター「しゅんた」

## 駿河台大学古本募金 — Book de 募金 — とは

皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額を駿河台大学に寄付する取組みです。集まった募金は駿河台大学の学費支援基金として大切に役立てます。

——— 皆様のご支援をお待ちしております。

申込受付から査定・報告、および送金は「古本募金きしゃぼん」(運営: 嵯峨野株式会社)が担当します。古本募金1回のご参加につき、きしゃぼんからも100円が寄付されます。

WEBで申込む (受付) 24時間・365日

駿河台大学 古本募金

kishapon.com/surugadai/

電話で申込む (受付) 9時~18時・365日

**0120-29-7000**

オペレーターに団体ID **14** とお伝えください。

〈お問い合わせ先〉 駿河台大学 財務課

TEL: **042-972-1191**

E-mail: **zaimu@surugadai.ac.jp**

# 2020年度 プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞及び ティーチャー・アワード受賞者のご紹介

駿河台大学では、教育・研究・社会貢献活動等において顕著な業績を挙げた本学の学部・センター所属教員に対し、2020年度からは、「プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー」及び「ティーチャー・アワード」の2部門に分けて実施することと致しました。

今年度は、以下の3名の専任教員が、本学への多大な貢献が評価され、受賞となりました。

## 【プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞受賞者】

所 属	氏 名(役職)	専 門 分 野
心理学部	おまた けんじ 小侯 謙二(教授)	犯罪心理学

## 【ティーチャー・アワード受賞者】

所 属	氏 名(役職)	専 門 分 野
スポーツ科学部	ジョエル マシューズ Joel Matthews (講師)	日本研究 (ジャパン・スタディーズ)
情報処理教育 センター	おおた こうすけ 太田 康友(助教)	情報基礎教育、 初年次教育、教育工学



左より、大森学長、小侯教授、J. Matthews講師、太田助教

## 【受賞者からのコメント】

### プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞受賞者



#### 小侯 謙二(心理学部 教授)

受賞にあたり、私が思うことは、学部執行部をはじめとする学部教員の皆様のご協力と支え、とくに歴代教務委員長に対する感謝以外の何物でもありません。「教務」畑の仕事に疎く、どちらかといえばいい加減な性格の私が曲がりなりにも学部長・研究科長の任務をこなせたのは、そうした心理学部の温かい雰囲気があるのなことと思います。

今後も、受賞に恥しないよう、自己研鑽に努めたいと思います。本当にありがとうございました。

### ティーチャー・アワード受賞者



#### J. Matthews(スポーツ科学部 講師)

駿河台大学に着任して5年経ちましたが、新規に開拓した海外インターンシップ付き短期留学、学内外の国際交流、母国オーストラリア多文化主義に関する講演などが評価されたことは、とても嬉しく思っております。今後も頑張っていきたいと思っております。



#### 太田 康友(情報処理教育センター 助教)

ティーチャー・アワードの受賞、本当に嬉しいです。情報処理教育センターと情報システム課で一丸となって取り組んできたことが評価されたのだと思います。愛情教育の理念に基づく手厚い学習支援、アクティブ・ラーニングの実践、Society 5.0時代を見据えた情報教育の展開等、今後も頑張っていきたいと思っております。

# 同窓会事務局より

【重要】同窓会では、卒業生の「人材バンク」機能を構築していくことに取り組んでいます。現役学生に対する講座の講師役や就職座談会などへの支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。後日、同窓会や大学関係者より、事前に「人材バンク」への登録可否を伺う連絡が入る場合がございますので、予めご承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

## 「駿大経済30周年」より

経済経営学部の前身である経済学部が駿河台大学の第2の学部として開設されたのは1990年(平成2年)のことでした。30周年の節目を記念して、駿河台大学ホームページに初期の経済学部を知る卒業生・教員の皆様から寄せられたメッセージを掲載しています。連載企画から、岡部 浩一同窓会副会長の寄稿をご紹介します。連載企画から、岡部 浩一同窓会副会長の寄稿をご紹介します。

[https://www.surugadai.ac.jp/gakubu\\_in/keizaikeiei/news/2020/3084.html](https://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/keizaikeiei/news/2020/3084.html)

## 「今しか、ここでしか出来ないこと」を探し続けた4年間

岡部 浩一(2008年経済学部卒)

経済学部開設30周年おめでとうございます。

私が入学した2004年は、経済学部30年の折り返し時期です。同年12月、駿大の特色的な教育「まちを元気に、まちで元気にプロジェクト」の前身である、「学生参加による〈人間〉活性化プロジェクト」が始まりました。「まち」を教室にして学びの場とするこの「アウト・キャンパス・スタディ」は、とても有意義な取り組みだと感じました。

愛宕神社の例大祭である「おとろうまつり」は、特に思い出も強く、卒業後も企画委員会として携わる機会をいただきました。また、小学生を対象とした子どもパソコンクラブや市民の方向けのパソコン講座では、カリキュラム作成から講座の実施まで学生同士協力して行いました。

多くの企画に参加し、経済学部のみならず他学部の学生や先生、地域の方とのつながりができたことは、大きな経験となりました。

他にも在学中は、学祭やオープンキャンパスのスタッフ、プログラミング授業の学生アシスタントなども行いました。また4年次には、一時途絶えていたオーバーナイトウォークの復活にも携わりました。何度も下見に行ったのでルートは今でも覚えています。

とにかく「今しか、ここでしか出来ないこと」を探し続けた4年間でした。たくさんのチャンスを与えてくださった、教職員の皆さんには今も感謝しています。



おとろうまつり

子どもパソコンクラブ



初心者のためのパソコン講座

オーバーナイトウォーク

## 硬式テニス部OB会報告

2019年10月26日(土)にOB会を開催いたしました。OB会は、大学テニスコートでOB・現役交流戦、飯能で懇親会の2部構成で行いました。テニスは、すでに現役生に敵わなくなっていますが、就職についての相談や社会人としての心構えなど、OBとして現役生の支援を続けていきたいと思っています。

また、OB会はホームカミングデーに合わせ大学で開催しています。硬式庭球部だけの交流ではなく、大学同窓会との交流の輪を広げていきたいと思っています。

大平 一貴(1995年経済学部卒)



## 卒業生の子への学費支援について

駿河台大学では、同窓生のお子様が母校(駿河台大学)に入学する場合、入学金免除制度(大学制度)に加え、同窓会から「初年度授業料の半額」を給付しています。給付型奨学金ですので、返還の義務はありません。受験期のお子様のいらっしゃる同窓生の皆様、母校への進学を是非ご検討ください。

- ①入学金 全額免除:大学給付制度
  - ②授業料 入学時初年度授業料の半額給付:同窓会給付制度
- ※入学した初年度に限り給付するもので、継続はありません。

詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

## 駿河台大学貸与奨学生・日本学生支援機構奨学生の方へ

### 駿河台大学貸与奨学生の方

毎年11月頃に、本学よりご登録住所へ「償還通知」及び「振込用紙」をお送りしています。12月末日までに返還金の納入をお願いいたします。

### 日本学生支援機構奨学生の方

2020年3月に奨学金の貸与が終了した方は、10月から返還が始まります。経済困難、失業、傷病、災害など返還できない事情が生じた場合、返還月額の減額または返還期限の猶予といった救済制度があります(返還予定総額は変わりません)。

日本学生支援機構奨学金に関する各種手続きは、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/>)をご覧ください。奨学金相談センター(ナビダイヤル0570-666-301)にご相談ください。

### 支部会 連絡先

- 北海道支部会 上見 国敏さん(1995年経済学部卒) TEL:0154-24-3811
- 新潟支部会 大平 一貴さん(1995年経済学部卒) TEL:090-7813-2575 E-mail: barohhira26@gmail.com
- 長野支部会 今井 翔大さん(2015年法学部卒) E-mail: nagano.sundai@gmail.com
- 山梨支部会 塩澤 清志さん(1991年法学部卒) E-mail: dousou@surugadai.ac.jp(同窓会事務局宛)
- 群馬支部会 桐生 岳さん(1993年法学部卒) TEL:090-8840-6123 E-mail: sundai-gunma@answerwind.com
- 沖縄支部会 崎原 正平さん(2009年法学部卒) TEL:080-6491-9979